

10月24日「就労支援を知る」アセスメントシートの講評(文書による回答)

【「働きたい理由」について】

寺町さんが一般就労したい理由、車が好きな理由について、もう少し掘り下げるられるとより良いかもしれません。お金がほしいのか、同級生が働いているからなのか、親から言われてなのか。また車が好きな理由についても、小さい頃から乗り物が好きで車の知識が豊富だからなのか、学校の職場実習でやってみたからなのか…等々。就労意欲を高めたり、希望職種の幅を広げるヒントが何か得られるかもしれません。

【「習熟度」の予測について】

選択とB型でそれぞれ5日間のアセスメントを行っていますが、5日間の習熟度を把握するとよいのではないでしょうか。例えば、作業速度の向上、指示の定着度、ミスの減少、その他行動面の改善…など。現時点での作業速度だけでなく、大まかにどのくらいの感じで習熟していけそうか、習熟の速度をできる範囲で予想することもアセスメントの視点として大事だと思いますが、いかがでしょうか。

【生活リズムの改善について】

朝起きられないことが今後も続くようであれば、一般就労／福祉的就労に関わらず継続する上での大きな課題となります。早起きできない理由について生活面の状況を把握したうえで、支援の方法論を検討することが望ましいのではないでしょうか。考えられる理由としては、例えば、深夜までゲームをしたりスマホを観ている、家族と生活サイクルが合わず眠れない(または起きられない)、体質的な要因がある…等々。それによって支援のアプローチも変わってくるはずです。

【自発性について】

自発性を身につけるとよいのではないかと記載がありました。その通りだと思いますが、どのような行動が自発性のある行動になるのか、どのような支援方法があるのかなど具体的に記載があるとよいのではないかでしょうか。

【行動観察について】

選択支援事業所のアセスメントで「周囲をキヨロキヨロと見渡す様子があった」とあります。よそ見にもいろいろな意味があって、例えば、①(保護者など)他者の承認やサポートを求めている、②新規場面のため周囲を見回しながら本人なりに情報をを集めている、③物音・人影などの刺激で注意が逸れる、④疲れて集中力が途切れている…等々。後半のB型の状況をみると「周囲の様子を見ながら次に必要な道具を準備していた」とありますので、寺町さんの場合は恐らく②が該当するのではないかと推測されます。寺町さんの学習スタイルとして、「周囲の動きを見ながら学んでいく」タイプといえそうで、これはむしろ就労に向けての強みになると思われます。「よそ見」がすべて課題ということではなく、その意味を捉える視点が必要ではないでしょうか。

※※参考ホームページ※※

○まいどなニュース IQは53 視覚障害の母を支えて育ち、高校で軽度知的障害と診断…バイトではミスだらけ「健常者を目指すのはやめた」青年が俳優として踏み出すまで
<https://maidonanews.jp/article/15721988>

○障害者の就労選択支援の動向と今後の展望 ~利用者の特性アセスメントが鍵になる~
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/477105.html>